

自己PR コンテスト発表文にみる日本語表記の問題点

高木香与呼

1 はじめに

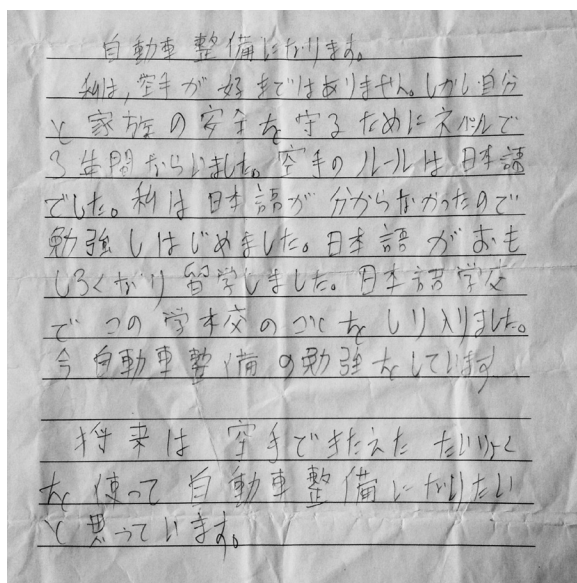
本校の春学期の日本語表現法では、試験の一環として「自己PR コンテスト」を一年生の全クラス合同で行っている。コンテスト参加者の発表文は、発表後提出される。提出された文章の日本語表記において、正しくないものが多く、共通する複数の特徴がみられた。そこで、本稿では2018年度・2019年度の、学生から提出された二回分の発表文に見られる日本語表記傾向を見ていきたい。尚、本稿においての「表記」とは、作文を書き表す時の段落分けの書き方や、符号の使い方のことを指す。

2 自己PR コンテスト発表文とその画像2018年度

1 留学生 ネパール

自動車整備士になります。

私は空手が好きではありません。しかし自分と家族の安全を守るためにネパールで3年間習い



ました。空手のルールは日本語でした。私は日本語がわからなかったので勉強し始めました。日本語が面白くなり留学しました。日本語学校でこの学校のことを知り入りました。今、自動車整備の勉強をしています。

将来は空手で鍛えた体力を使って、自動車整備士になりたいと思っています。

2 留学生 ネパール

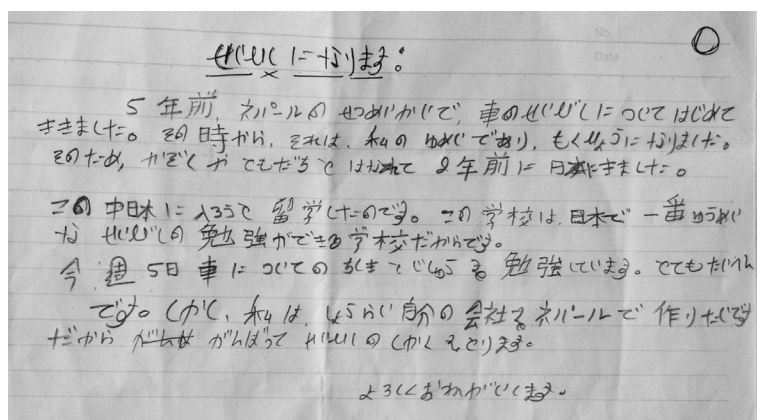
整備士になります。

5年前、ネパールの説明会で、車の整備について初めて聞きました。その時から、それは、私の夢であり、目標になりました。そのため、家族や友達と離れて2年前に日本に来ました。

この中日本に入ろうと留学したのです。この学校は日本で1番有名な整備士の勉強ができる学校だからです。

今、週5日、車についての知識と実習を勉強しています。とても大変です。しかし、私は将来自分の会社をネパールで作りたいです。だから頑張って整備の資格を取ります。

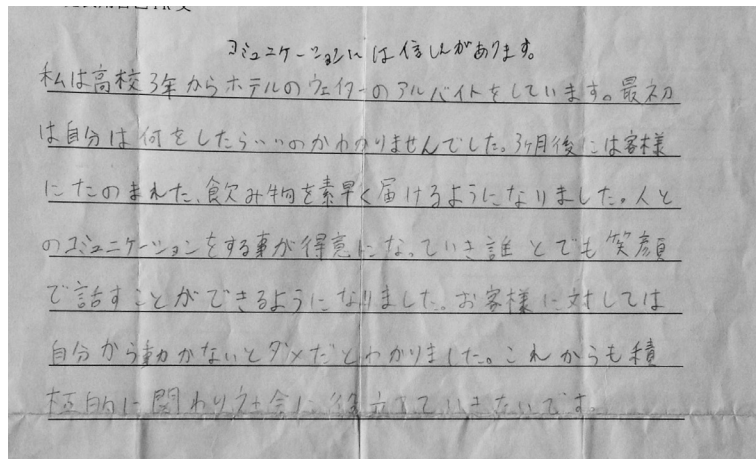
よろしくおねがいします。



3 留学生 スリランカ

コミュニケーションには自信があります。

私は高校3年からホテルのウエイターのアルバイトをしています。最初は自分は何をしたらいのかわかりませんでした。3ヶ月後にはお客様に頼まれた、飲み物を素早く届けるようになりました。人とのコミュニケーションをすることが得意になっていき誰とでも笑顔で話すことができました。お客様に対しては自分から動かないとダメだとわかりました。これからも積極的に関わり社会に役立てていきたいです。

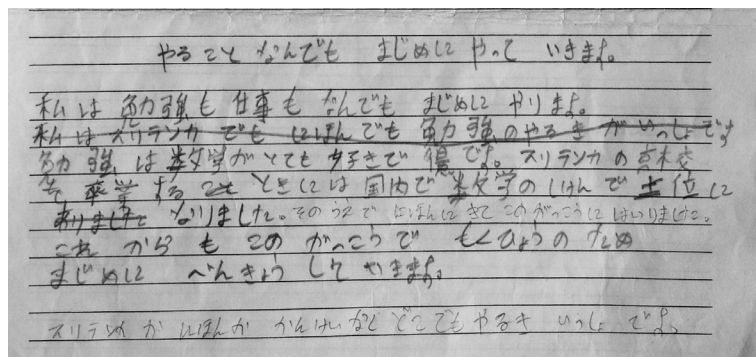


4 留学生

やることなんでも真面目にやっています。

私は勉強も仕事もなんでも真面目にやります。勉強は数学がとても好きで得意です。スリランカの高校を卒業するときには国内で数学の試験で上位になりました。その上で日本に来てこの学校に入りました。これからもこの学校で目標のため真面目に勉強していきます。

スリランカか日本が関係なくどこでもやる気いっしょです。



5

「跳び続ける技術者」になります。

私は小中高と陸上部で走高跳をやっていました。そして競技を通して多くのことを学びました。特に成長する喜びです。最初はなかなか上手く跳べず苦労していたのですが、160cmの壁を超えた瞬間、グングンと記録が伸びていきました。成長を実感するにしたがって競技も楽しくなっていました。そして最終的に190cmを跳ぶことができました。その達成感を知ってからは伸び悩んでいる時期も頑張ることが出来るようになりました。ですから私は物事をあきらめずやり遂げることができます。夢を叶えるその日まで、努力を続けます。

「跳び続ける技術者」になりました。
私は小中高と陸上部で走高跳を作っていました。そして競技を通して多くの事を学びました。特に成長する喜びです。最初はなかなかうまく跳べず苦勞にいたのですが、160cmの壁を越えた瞬間、ケケンと記録が伸びていきました。成長を実感するに当たって競技も楽しくなっていました。そして最終的に190cmを跳ぶ事が出来ました。その達成感を知ってから伸び悩んでいる時期も頑張る事が出来るようになりました。ですから私は物事をあきらめずやり遂げる事が出来ます。夢と叶えるその日まで、努力を続けます。

6 留学生 中国

素直で実行力があります。

私は他人のアドバイスを素直に受け入れて、すぐに実行してみることを心がけています。

2012年、日本に来たばかりの私は、日本語が全く話せませんでした。年上のクラスメイトから「もっと日本語でしゃべって自分でアルバイトを探したり、歯医者に行ったりして自立するように」とアドバイスされました。その通りだと思い、それから、生活に必要な事はすべてに覚悟を

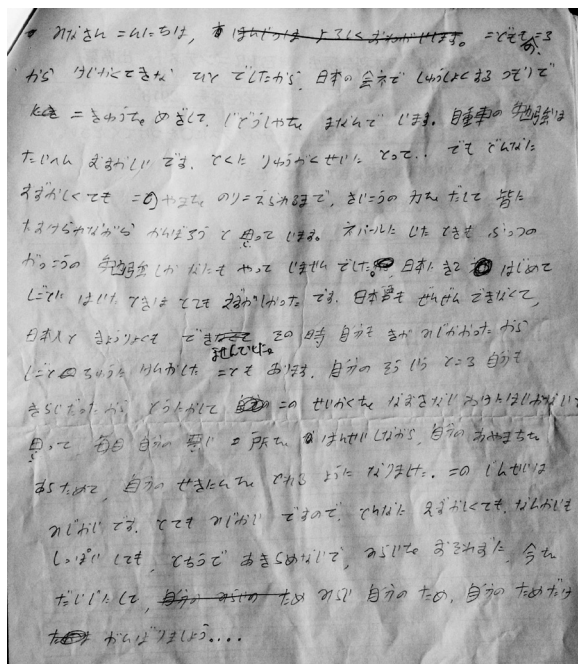
素直で実行力があつた
私は他人のアドバイスを素直に受け入れて、すぐに実行してみることを心がけています。
2012年、日本に来たばかりの私は、日本語が全く話せませんでした。年上のクラスメイトから「もっと日本語でしゃべって、自分でアルバイトを探したり、歯医者に行ったりして、自立するように」とアドバイスされました。そのとおりだと思い、それから、生活に必要な事はすべてに覚悟をして、自分で挑戦するようになりました。そうすることで日本語能力も上がっていき、そのおかげで、3年後N1に合格しました。
この素直さと、実行力でこれからも問題を解決していけると思います。

して自分で挑戦するようになりました。そうすることで日本語能力も上がっていききました。そのおかげで、3年後N1に合格しました。

この素直さと、実行力でこれからも問題を解決していけるとと思います。

7 留学生 ネパール

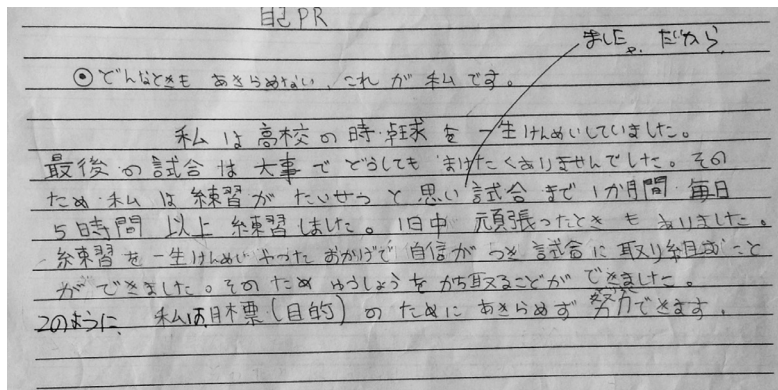
みなさんこんにちは。子供のころから計画的な人でしたから、日本の会社で就職するつもりで2級をめざして自動車を学んでいます。自動車の勉強は大変難しいです、特に留学生にとって。でもどんなに難しくてもこの山を乗り越えるまで、最高の力を出して皆に助けられながら頑張ろうと思っています。ネパールにいた時も普通の学校の勉強しか何もやっていませんでした。日本に来て初めて仕事に入った時はとても難しかったです。日本語も全然できなくて、日本人と協力もできませんでした。その時自分も気が短かったから仕事中に喧嘩したこともあります。自分のそういうところ自分も嫌いだったから、どうにかしてこの性格を直さないわけにはいかないと、毎日自分の悪いところを反省しながら、自分の過ちを改めて自分の責任を取れるようになりました。この人生は短いです。とても短いですので、どんなに難しくても、何回も失敗しても、途中であきらめないで、未来をおそれずに、今を大事にして未来自分のため、自分のためだけがんばりましょう。。。。



8 留学生

どんなときもあきらめない、これが私です。

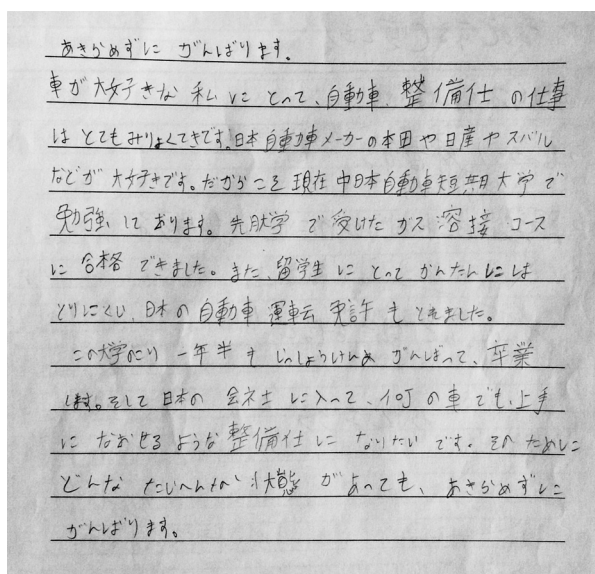
私は高校の時、卓球を一生懸命していました。最後の試合は大事でどうしても負けたくありませんでした。そのため、私は練習が大切と思いました。だから試合まで1ヵ月間毎日5時間以上練習しました。1日中頑張った時もありました。練習を一生懸命やったおかげで自信がつき試合に取り組むことができました。そのため優勝を勝ち取ることができました。このように、私は目標（目的）のためにあきらめず努力できます。



9 留学生 スリランカ

あきらめずにがんばります。

車が大好きな私にとって、自動車整備士の仕事はとても魅力的です。日本自動車メーカーの本田や日産やスバルなどが大好きです。だからこそ現在中日本自動車短期大学で勉強しております。先月大学で受けた受けたガス溶接コースに合格できました。また、留学生にとって簡単には取り

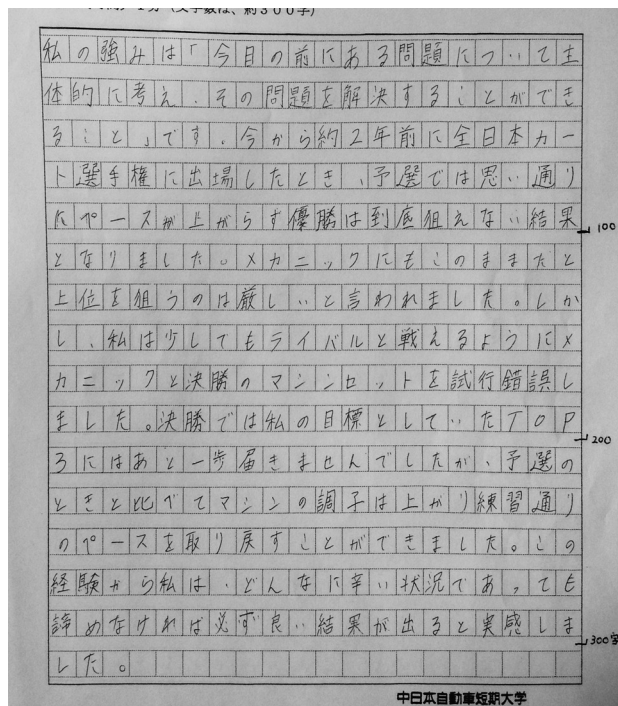


にくい、日本の自動車運転免許も取れました。

この大学残り1年半も一生懸命がんばって、卒業します。そして日本の会社に入って、何の車でも、上手に治せるような整備士になりたいです。そのためにどんな大変な状態があっても、あきらめずにがんばります。

10

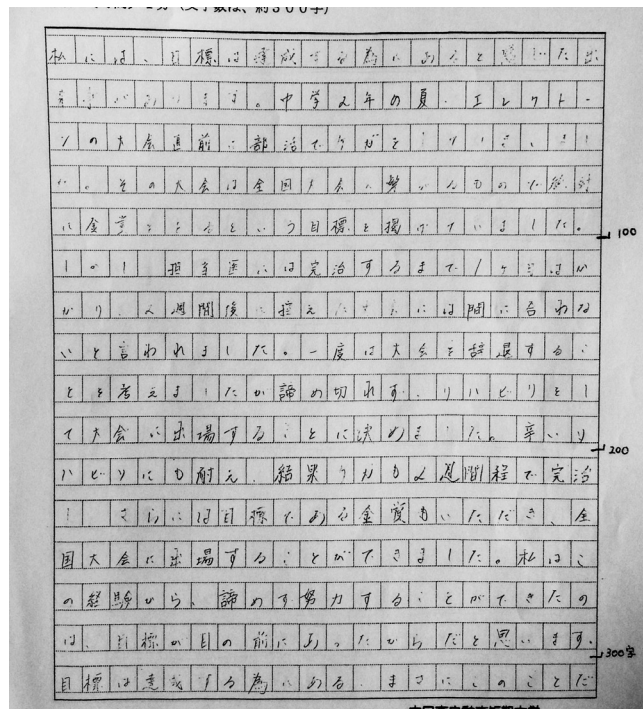
私の強みは「今日の前にある問題について主体的に考え、その問題を解決することができること」です。今から約2年前に全日本カート選手権に出場した時、予選では思い通りにペースが上がらず優勝は到底狙えない結果となりました。メカニックにもこのままだと上位を狙うのは厳しいと言われました。しかし、私は少しでもライバルと戦えるようにメカニックと決勝のマシンセットを試行錯誤しました。決勝では私の目標としていたTOP3にはあと1歩届きませんでしたが、予選の時と比べてマシンの調子は上がり練習通りのペースを取り戻すことができました。この経験から私は、どんなに辛い状況であっても諦めなければ必ず良い結果が出ると実感しました。



11

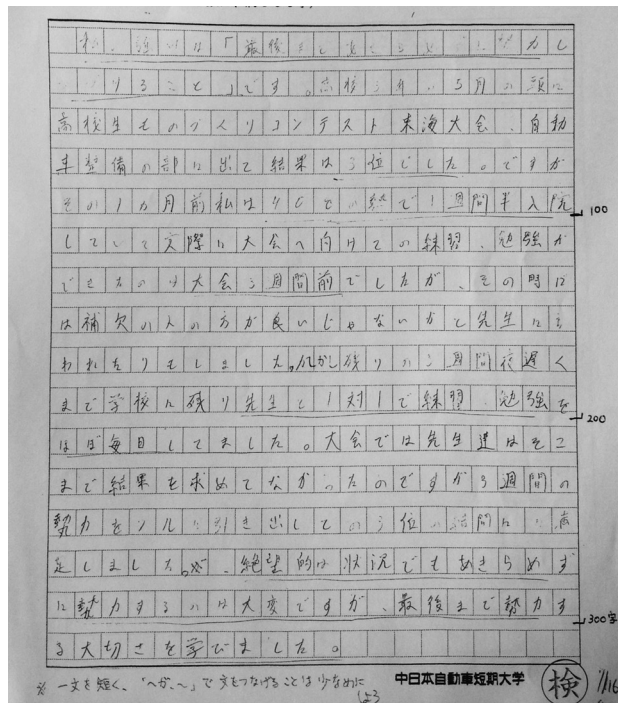
私には、目標は達成する為にあると感じた出来事があります。中学2年の夏、エレクトーンの大会直前に部活でケガをしてしまいました。その大会は全国大会につながるもので絶対に金賞を取ると言う目標を掲げていました。しかし、担当医には完治するまで1ヵ月のはかりかかり、2

週間後に控えた大会には間に合わないと言われました。一度は大会を辞退することを考えましたが諦め切れず、リハビリをして大会に出場することに決めました。辛いリハビリにも耐え、結果怪我も2週間ほどで完治し、さらには目標である金賞もいただき、全国大会に出場することができました。私はこの経験から、諦めず努力することができたのは、目標が目の前にあったからだと思います。目標は達成する為にある、まさにこのことだと思いました。



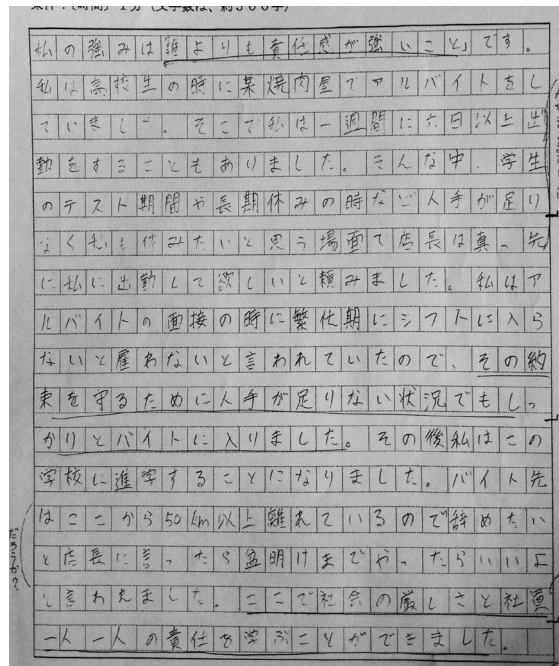
12

私の強みは「最後まで諦めずに努力しつづけること」です。高校3年の5月の頭に高校生ものづくりコンテスト東海大会、自動車整備の部に出て結果は3位でした。ですがその1ヵ月前私は40℃の熱で1週間半入院していて実際に大会へ向けての練習、勉強ができたのは大会3週間前でしたが、その時には補欠の人の方が良いじゃないかと先生に言われたりもしました。がしかし残りの3週間夜遅くまで学校に居残り先生と一対1で練習、勉強ほぼ毎日してました。大会では先生たちはそこまで結果を求めてなかったのですが3週間の勢力をフルに引き出しての際の結果には満足しました。絶望的な状況でもあきらめずに勢力するのは大変ですが、最後まで勢力する大切さを学びました。



13

私の強みは「誰よりも責任感が強いこと」です。私は高校生の時に某焼肉屋でアルバイトをしていました。そこで私は1週間に6日以上出勤をすることもありました。そんな中、学生のテスト期間や長期休みの時など人手が足りなく私も休みたいと思う場面で店長は真っ先に私に出勤してほしいと頼みました。私はアルバイトの面接の時に繁忙期にシフトに入らないと雇わないと言われていたので、その約束を守るために人手が足りない状況でもしっかりとバイトに入りました。その後私はこの学校に進学することになりました。バイト先はここから50km以上離れているので辞めたいと店長に言ったら盆明けまでやったらいいよと言われました。ここで社会の厳しさと社員ひとりひとりの責任を学ぶことができました。



3 自己PR コンテスト発表文とその画像 2019年度

1

どんなことでも、あとから帰ってくる

私は、幼稚園の低学年から、高校三年生まで水泳をやっていました。もともと、生まれつき喘息を持っていて、それを治すために水泳を始めました。

週6回学校終わりにスイミングスクールに通って毎日5キロ以上泳ぐ辛い練習を続けました。1年目初めて県大会で優勝できました。

それをきっかけ「だれにも負けたくない・ライバルより早くなりたい」とさらに思うようになり十二年間必死にがんばりました。そのおかげで、国体選手に選ばれたり、インターハイに出場することができました。

なにごともした分だけ、やらなかった分だけ後から結果が帰ってくると思います。

だから、会社の役に立てるように真面目に働きたいです。

どなたにとでも、おから帰る

私は、幼稚園の1学年から、高校三年まで水泳をやっていました。

そして、高校の卒業を機に、それまでずっと水泳を続けてきました。

通回学校終わりにスイミングスクールに通って毎日5km以上泳いで練習を繰り返して。

1年間で、大会で優勝できました。

それのおかげに、それにも負けない、5km以上泳ぐことができました。

と、さらに思うようになった(12年間)と、さらにがんばりました。

そのおかげで、国体選手に選ばれた、インターハイに出場する機会がありました。

なににとでも、さっさと帰る、やっかた命たり

おから結果は、帰ると思えます

だから、会社の役に立てるように真面目に働きたいです。

2

私の強みは負けず嫌いなことです。それがわかったのは、CODと言う自分の視点でプレイする1人称視点のゲームの大会で、負けかけた時に負けたくないという気持ちで試会で勝つ事ができたからです。

これを克服するためにゲームが上手い人と戦って負けても勝つまで戦えるようにがんばりました。

その結果小さな大会ですが、優勝して一万円もらえると言う成果をあげることができました。私は負けず嫌い、勝つまでは何度でも挑戦できる人です。

私の強みは負けず嫌いなことです。自分の視点でプレイする

それがわかったのは、CODという1人称視点のゲームの大会で、負けかけた時に負けたくないという気持ちで試会で勝つ事ができたからです。

これを克服するためにゲームが上手い人と戦って負けても勝つまで戦えるようにがんばりました。

その結果小さな大会ですが、優勝して一万円もらえるという成果をあげることができました。私は負けず嫌い、勝つまでは何度でも挑戦できる人です。

いざは大会で勝つ、

コールオブデューティ。

3

真面目にコツコツ目標達成これが私です。

私は高校で初めて吹奏楽部に入り、初めてチューバを始めました。チューバに決めた理由は、チューバは男子がやる楽器だと言われ、女子がバリバリに吹いていたらかっこいいじゃん！と思ったからです。

入部して一ヶ月経った頃、自分もコンクールに出場することが決まりました。最初は不安でしたが、「初心者だけど立派な演奏ができるようになりたい」と思いました。まずはできることをしっかりやるために、パート練習で「こうしたら良くなるのではないかな」と意見を言いました。また自分の演奏について周りの人にアドバイスをもらうようにしました。これは自分の演奏が間違っていないと思うのに役立ちました。さらに、チューバ以外のパートの課題も考えるようにしました。これは、全体を把握できるようになり、より自分の役割を理解するのに役立ちました。入部して4ヶ月後には、自信を持って怖がらずにしっかりと音を出せるようになり、コンクールでは一番良い演奏をすることができました。私は、大切な時に向けて、真面目にできることをコツコツと行動に移すことができます。そして、最後までやり通す力があります。

これが私が持っている強みです。

まじめにコツコツ 目標達成 これが私です

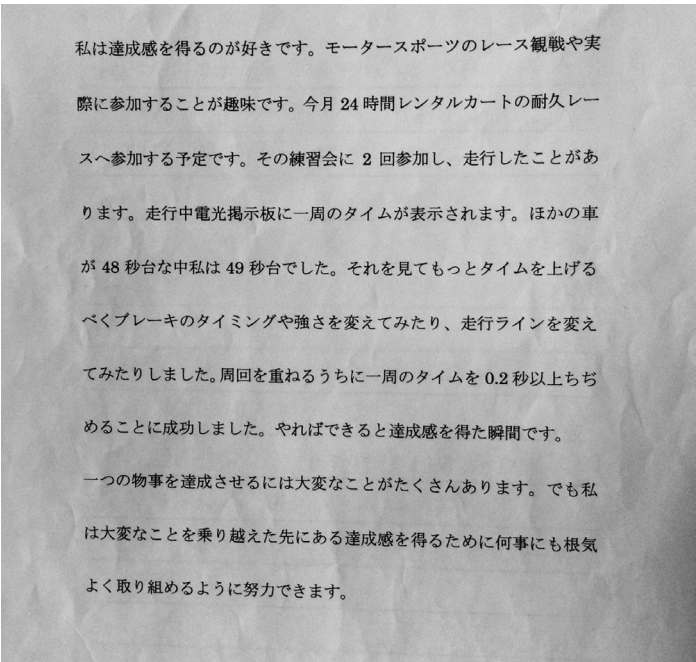
私は高校で初めて吹奏楽部に入り、初めてチューバを始めました。チューバに決めた理由は、チューバは男子がやる楽器だと言われ、女子がバリバリに吹いていたらかっこいいじゃん！と思ったからです。

入部して一ヶ月経った頃、自分もコンクールに出場することが決まりました。最初は不安でしたが、「初心者だけど立派な演奏ができるようになりたい」と思いました。まずはできることをしっかりやるために、パート練習で「こうしたら良くなるのではないかな」と意見を言いました。また、自分の演奏について周りの人にアドバイスをもらうようにしました。これは、自分の演奏が間違っていないと思うのに役立ちました。さらに、チューバ以外のパートの課題も考えるようにしました。これは、全体を把握できるようになり、より自分の役割を理解するのに役立ちました。入部して4ヶ月後には、自信を持って怖がらずにしっかりと音を出せるようになり、コンクールでは一番良い演奏をすることができました。私は大切な時に向けて、真面目にできることをコツコツと行動に移すことができます。そして、最後までやり通す力があります。これが私が持っている強みです。

4

私は達成感を得るのが好きです。モータースポーツのレース観戦や実際に参加することが趣味です。今月24時間レンタルカートの耐久レースへ参加する予定です。その練習会に2回参加し、走行したことがあります。走行中電光掲示板に一周のタイムが表示されます。他の車が48秒台中私は49秒台でした。それを見てもっとタイムを上げるべくブレーキのタイミングや強さを変えてみたり、走行 LINE を変えてみたりしました。集会を重ねるうちに一周のタイムを0.2秒以上縮めることに成功しました。やればできると達成感を得た瞬間です。

1つの物事を達成させるには大変なことがたくさんあります。でも私は大変なことを乗り越えた先にある達成感を得るために何事にも根気よく取り組めるように努力できます。



私は達成感を得るのが好きです。モータースポーツのレース観戦や実際に参加することが趣味です。今月 24 時間レンタルカートの耐久レースへ参加する予定です。その練習会に 2 回参加し、走行したことがあります。走行中電光掲示板に一周のタイムが表示されます。ほかの車が 48 秒台中私は 49 秒台でした。それを見てもっとタイムを上げるべくブレーキのタイミングや強さを変えてみたり、走行ラインを変えてみたりしました。周回を重ねるうちに一周のタイムを 0.2 秒以上ちめることに成功しました。やればできると達成感を得た瞬間です。

一つの物事を達成させるには大変なことがたくさんあります。でも私は大変なことを乗り越えた先にある達成感を得るために何事にも根気よく取り組めるように努力できます。

5

私は初対面の人に緊張せずに話すことができます。自分の中では、当たり前とと思っていましたが周りの人からは、びっくりされることが多いです。

体験談としては、学校に入学したてでお互いに面識がない時に自分から出身地は？好きなスポーツは？と話しかけました。

誰とでも初対面で話せてすごいと初めて人に言われたのは、小学校1年生でした。

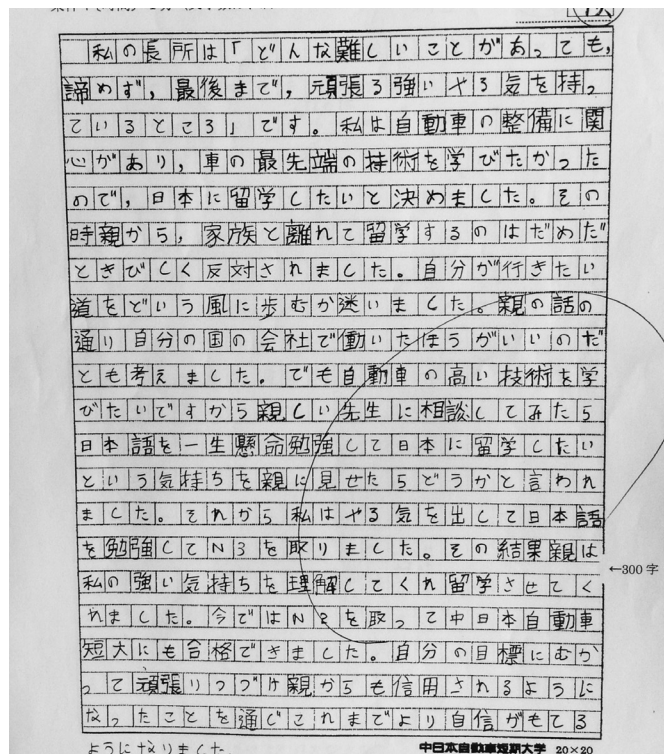
私はこの自分から話しかける性格のおかげで人とのコミュニケーションで困ったことはありません。

この自分の強みを活かして社会で役に立てたいです。

しかなく、間に合いそうにないので、かつことを諦めて試合の経験を積むことだけを考えました。でも、ここで放棄してしまうと、ずっと失敗することになってしまうと思い、諦めずに努力を続けることにしました。朝から明夜けまでずっと練習して、四日間続けました。手がだるくなったら、他人の試合のビデオを見て、その後、練習を続けました。練習しすぎて、手にけがをしてしまいました、しかし、そのような困難を乗り越えて、とうとう、2等賞を取ることができました。この経験から、苦しい時にも、うまずたゆまずやりつづけることが成功の鍵だということを学びました。

7 留学生

私の長所は「どんな難しいことがあっても、あきらめず、最後まで、頑張る強いやる気を持っているところ」です。私は自動車の整備に関心があり、車の最先端の技術を学びたかったので、日本に留学したいと決めました。その時親から、家族と離れて留学するのはだめだと厳しく反対されました。自分が行きたい道をどういう風に歩むか迷いました。親の話の通り自分の国の会社で働いた方がよいのではとも考えました。でも自動車の高い技術を学びたいですから親しい先生に相談してみたら日本語を一生懸命勉強して日本に留学したいという気持ちを親に見せたらどうかと言われました。それから私はやる気を出して日本語を勉強してN3を取りました。その結果



親は私の強い気持ちを理解してくれ留学させてくれました。今ではN2を取って中日本自動車短大にも合格できました。自分の目標に向かって頑張りつづけ親からも信用されるようになったことを通じこれまでより自信が持てるようになりました。

8 留学生

私の長所は「いつも前向きに考えられること」です。日本に来た時日本語がわからなくて食べられないもののに牛肉を買ってしまいました。アルバイトで社員から頼まれたことがわからなくて違うことをやってしまいました。その時先輩が教えてくれて、助けてもらいました。でもいつも先輩から助けてもらうのは申し訳なくて自分のふがいなさを悔しいと思いました。日本で自動車整備の勉強をして、日本で生活しようと思って日本に来たし、先輩たちからも、もっと勉強すれば先輩と同じような日本語がわかって、しゃべることもできると言ってくれました。先生たちも頑張ろうと励ましてくれました。先輩たちから勇気づけられて、学校だけじゃなくて部屋でも勉強したり日本の映画もみたりして日本語もだんだんレベルアップしてきました。エヌエーシーにも入学することができて、先輩に心から感謝しています。この経験から自分に自信を持つことの大切さを学びました。

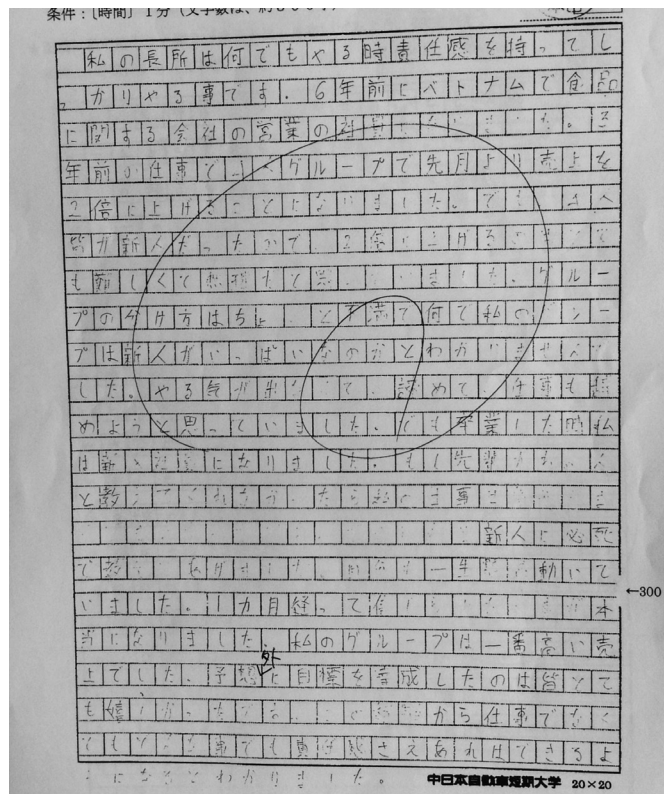
私の長所は「いつも前向きに考えられること」です。日本に来た時日本語がわからなくて食べられないもののに牛肉を買ってしまいました。アルバイトで社員から頼まれたことがわからなくて違うことをやってしまいました。その時先輩が教えてくれて、助けてもらいました。でもいつも先輩から助けてもらうのは申し訳なくて自分のふがいなさを悔しいと思いました。日本で自動車整備の勉強をして、日本で生活しようと思って日本に来たし、先輩たちからも、もっと勉強すれば先輩と同じような日本語がわかって、しゃべることもできると言ってくれました。先生たちもがんばろうと励ましてくれました。先輩たちから勇気づけられて、学校だけじゃなくて部屋でも勉強したり日本の映画もみたりして日本語もだんだんレベルアップしてきました。エヌエーシーにも入学することができて、先輩に心から感謝しています。この経験から自分に自信を持つことの大切さを学びました。

中日本自動車短期大学 20×20
また学びました。

9 留学生 ベトナム

私の長所は何でもやるとき責任感を持ってしっかりやることです。6年前にベトナムで食品に関する会社の営業の社員になりました。3年前の仕事で4人グループで先月より売上げを2倍に上げることになりました。でも、4人みんなが新人だったので、2倍に上げるの難しくて無理だと思っていました。グループの分け方はちょっと不満でなんで私のグループは新人がいっぱいなのかとわかりませんでした。やる気が出なくて、諦めて、仕事もやめようと思っていました。でも卒業した時私は新入社員になりました。もし先輩があの人と教えてくれなかったら私の仕事は……………，新人に必死で教えてあげました。自分も一生懸命動いていました。1ヵ月経って信じられないことが本当になりました。私のグループは1番高い売上げでした。予想外に目標達成したのは皆とてもうれしかったです。この経験から仕事でなくてもどんなことでも責任感さえあればできるようになるとわかりました。

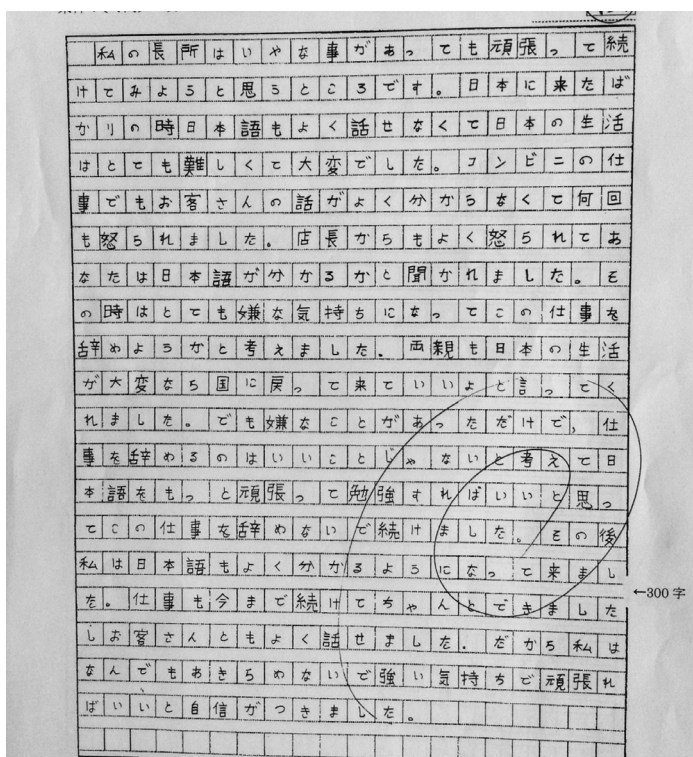
※筆者はこの学生を指導していないため、元 の原稿コピーで判読不明箇所は…とした。



10 留学生

私の長所は嫌なことがあっても頑張って続けてみようと思うところです。日本に来たばかりの時日本語もよく話せなくて日本の生活はとても難しくて大変でした。コンビニの仕事でもお客さ

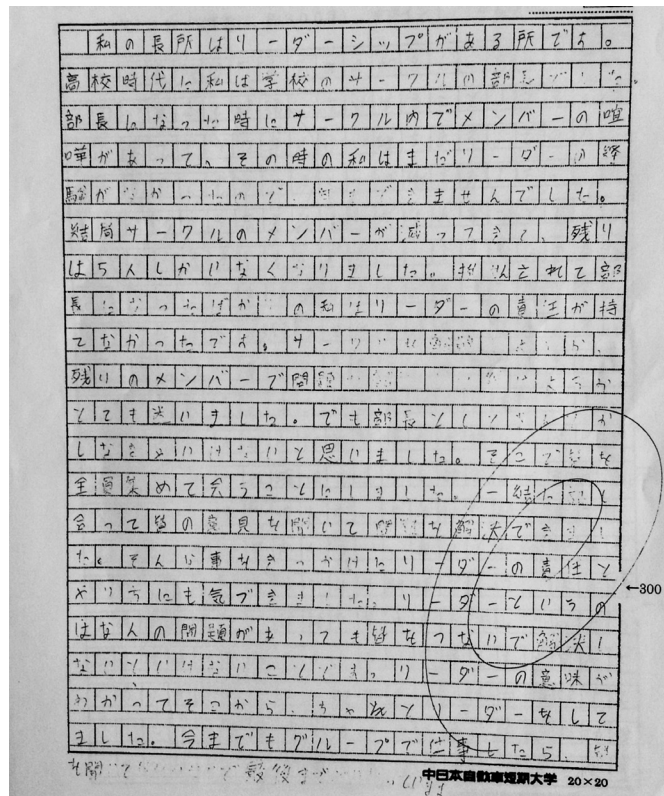
んの話がよくわからなくて何回も怒られました。店長からもよく怒られてあなたは日本語が分かるかと聞かれました。その時はとても嫌な気持ちになってこの仕事をやめようかと考えました。両親も日本の生活が大変なら国に戻ってきていいよと言ってくれました。でも嫌なことがあっただけで、仕事を辞めるのはいいことじゃないと考えて日本語をもっと頑張って勉強すればいいと思ってこの仕事を辞めないで続けました。その後私は日本語もよくわかるようになってきました。仕事も今まで続けてちゃんとできましたしお客さんともよく話せました。だから私はなんでもあきらめないで強い気持ちで頑張ればいいと自信ができました。



11 留学生

私の長所はリーダーシップがあるところです。高校時代に私は学校のサークルの部長でした。部長になった時にサークル内でメンバーの喧嘩があって、その時の私はまだリーダーの経験がなかったので、何もできませんでした。結局サークルのメンバーが減ってきて、残りは5人しかいなくなりました。推薦をされて部長になったばかりの私はリーダーの責任が持てなかったのです。サークルを……ようか、残りのメンバーで問題を……ようかととても迷いました。でも部長としてなんとかしなきゃいけないと思いました。そこで…を全員集めて会うことにしました。一緒に話し合ってみんなの意見を聞いて問題を解決できました。そんなことをきっかけにリーダーの責任とやり方にも気づきました。リーダーと言うのは何の問題があってもみんなをつないで解決し

ないといけないことです。リーダーの意味がわかってそこからちゃんとリーダーをしました。
今までもグループで仕事したら、…を聞いて……最後まで……ます。



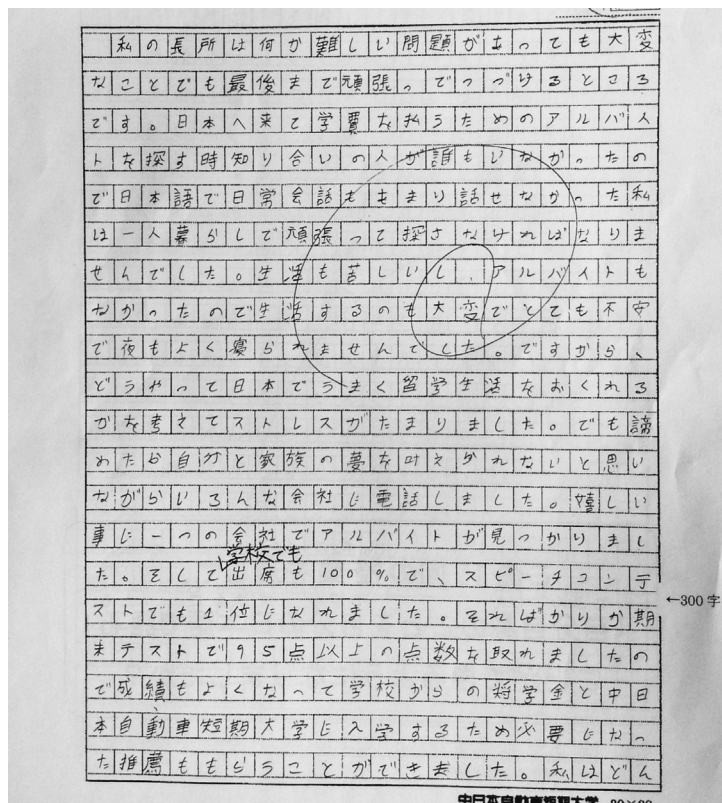
12 留学生

私の長所は「自分の目的をしっかりとって強い意志でがんばっていけること」です。日本に来てもう2年ぐらい経ちます。その前に自分の目でもう10年くらい働きました。しかし、このような生活は私が望んだことではないと気づきました。だから、3年前に日本へ留学することを決めました。全てをリセットして、自分の願う生活を追求しています。私にとって仕事が好きならそれは最高に幸せなことです。エンジニアになりたいので、2年前に日本の自動車整備の学校に入学しました。見知らぬ環境と違う言語で、初め日本へ来た時、全然喋れず、生活は結構大変でした。その間の半年くらい、毎日学校の授業が終わったら、自分で4時間復習して、次の朝7時に起きて、単語を覚えめました。成績もだんだんよくなりました。この経験から、私は継続していくことの重要性に気がつきました。成功は1日ではないので毎日の積み重ねが必要です。

私の長所は「自分の目的をしっかりと持ち
て強い意志で頑張る」といけることです。日
本に来てもう2年くらい経ちます。その前に
自分の目で、もう10年くらい働きました。しが
し、このような生活は私が望んだことではな
いと気づきました。だから、3年前に日本へ
留学する決意をいたしました。すべてをリセッ
トして、自分の願う生活を追求しています。
私にとって仕事が好きなら、それは最高に幸
せなことです。エンジニアにやりたいので、
2年前に日本の自動車整備の学校に入学しま
した。見知らぬ環境と違う言語で、~~まだ~~初め日
本へ来た時、全然喋れず、生活は結構大変でし
た。その間の半年くらい、毎日学校の授業が
終わったら、自分で4時間復習して、次の朝
7時に起きて、単語を覚えしました。このよう
な生活は一年経ちました。成績もどんどんよ
くなりしました。この経験から、私は継続して
いくことの重要性に気づきました。成功は
一日ではないので毎日の積み重ねが必要です。

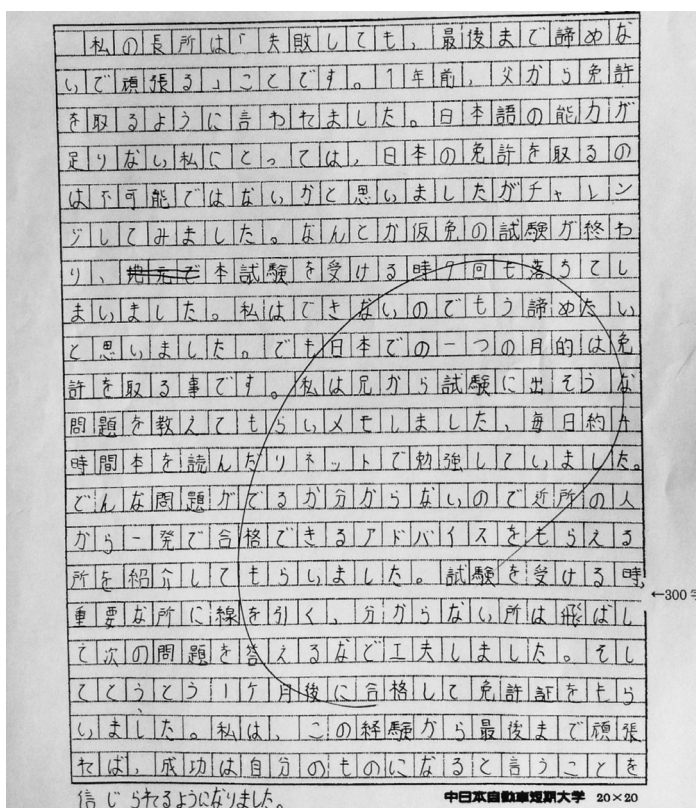
13 留学生 ネパール

私の長所は何か難しい問題があっても大変な事でも最後まで頑張っているとこです。日本へ来て学費を払うためのアルバイトを探す時知り合いの人が誰もいなかったのも日本語で日常会話もあまり話せなかった私は一人暮らしでがんばって探さなければなりません。生活も苦しいし、アルバイトもなかったのも生活するのも大変でとても不安で夜もよく寝られませんでした。ですから、どうやって日本でうまく留学生活をおくれるかを考えてストレスがたまりました。でも諦めたら自分と家族の夢を叶えられないと思いながらいろんな会社に電話しました。うれしいことに1つの会社でアルバイトが見つかりました。そして学校でも出席も100%で、スピーチコンテストでも1位になりました。そればかりか期末テストで95点以上の点数を取れましたので成績も良くなって学校からの奨学金と中日本自動車短期大学に入学するため必要になった推薦ももらうことができました。私はどんなこともあきらめないで一所懸命頑張ればどんなに大変な状態でも夢をかなえることができると思いました。



14 留学生 中国

私の長所は「失敗しても、最後まであきらめないで頑張る」ことです。1年前、父から免許を取るように言われました。日本語の能力が足りない私にとっては、日本の免許を取るのとは不可能ではないかと思いましたがチャレンジしてみました。なんとか仮免の試験が終わり、本試験を受ける時7回も落ちてしまいました。私はできないのでもう諦めたいと思いました。でも日本での1つの目的は免許を取ることです。私は兄から試験に出そうな問題を教えてもらいメモしました、毎日約4時間本を読んだりネットで勉強していました。どんな問題が出るか分からないので近所の人から一発で合格できるアドバイスをもらえる所を紹介してもらえました。あー試験を受ける時重要な所に線を引く、わからないところは飛ばして次の問題を答えるなど工夫しました。そしてとうとう1ヵ月後に合格して免許証をもらいました。私は、この経験から最後まで頑張れば、成功は自分のものになるということを信じられるようになりました。



4 提出された発表文の文字化記述に関して

画像は発表学生が発表文として提出したもの。画像上部には、極力、句読点等も含め、原文に忠実にした。しかし、ひらがなで書かれたものを漢字にしたり、明らかに書き間違いだと思われるものは修正した。

発表する学生は最低一回、発表文のチェックと発表の仕方について指導を受けている。

提出された発表文の形式の違いは、担当教員が、2018年度は二人、2019年度は三人が担当しており、教員それぞれの採用形式の違いであって他意は特にない。

尚、発表文は原則暗記させたが、発表時に壇上に持参してもよいことにしてあったので、学生によっては、アクセントや間、プロミネンスを書き込んであるが、これは、スピーチ用の記号であるため、本稿では触れないことにした。

5 特徴と分類・分析

5-1 特徴

まず、発表文の表記に見られる問題点を以下に挙げる。

全体を通してよく見られるのは、

- ① 段落がない
- ② 段落を表す一字下げがない
- ③ 読点と句点の打ち間違い
- ④ 句読点がない

である。

さらに、原稿用紙形式でない場合に出てくるのは、

- ⑤ 段落の代わりの一行空け（スペース）
- ⑦ 句読点の代わりの空き（スペース）
- ⑧ 一字下げ以上のスペースがある。

が挙げられる。

5-2 分類

これらの問題を大きく分類すると、

- A 段落作成とその表記方法
- B 句読点
- C 本来必要のない空白（スペース）

の三種類に分けられる。

次に、分類したABCについて、日本人学生だけか、留学生だけか、共通しているかについてや、現象の傾向やその現象が起こる原因の分析を試みる。

5-3 分析

A - 段落作成と表記方法 - について。

段落を分けることについては、その規定自体が学生には難解で複雑であることが第一の原因だろう。文化庁の新「ことば」シリーズ7の「文章表現の工夫」（p49-63）には成立条件や改行の際のルールが説明されている。しかし、「文章全体の規模に応じた大小さまざまな話題による区切りがある（以下略）」に始まるように、文章の多様性に応じられるように書いてあるため、難解といえ難解であろう。改行ルールは規則が1から6までである。

そのためか、日本人・外国人を問わず本学学生には、段落を分けるという意識の薄さが、まず原因として挙げられる。また、意味のまとまりが一つの段落であるという意識よりも、出された課題を書き終えることに意識を集中してしまい、段落意識が薄れてしまったことも想像できる。

また、自己PR作成においては400字程度としているため、段落が分けにくい長さであることも原因である可能性がある。そして、自己PRは一つのことについての説明文であることも影響している可能性もある。しかし、いくら一つのことのみの説明であっても、起・承・結という構造はあるわけであるから、最低でも三段落はできるはずである。

以上の点以外で、最も大きな影響を与えていると思われる要因は、スマートフォンの普及であ

る。その手軽さもあり、学生は何かを調べる時、パソコンではなくスマートフォンやタブレット端末を常用している。ウェブページの表記には、段落分けが存在していない文章もみられる。特に、学生がよく閲覧しているとみられるウィキペディアやFacebook、LINE、ツイッター、各種ブログなどの個人が自由に書き込めるページでは、段落がなく、一字下げのない文章が多い。それらに日常的に触れている学生はその表記方法を知らず知らずのうちにイメージを取り込んでいるのではないか。このことは、後述のCの原因としてももちろん考えられる。

特に、LINE やツイッターは、短文のやり取りであるため段落形成の必要がない。そして、この二つは特に学生がよく使う。よってこれも、段落意識の欠如に大きな影響がありそうだ。

B - 句読点 - について

句読点の混同や打ち間違いは圧倒的に留学生に多いが、自国語でないことと、必ずしも母語に句読点があるとは考え難いことが大きな原因であろう。混同こそほとんど見られないが、日本人学生にも時々ある。そして、読点の文末という明確なルールに対して、特に句点は、もともとの決まりが分かりにくいいため、打ち方について日本人学生にもよく質問される。この文章の後に参考を転載するが、その規定は、文頭の接続詞の後といった明確なルールもあるが、文中のルールにおいては臨機応変さが必要で、自作文章を手探りで書いている学生にはたいへん難しいことと思われる。

〔参考〕 文部省発表の「区切り符号の使ひ方」(1995) の記述を抜粋し転記する

一、テンは、第一の原則として文の中止にうつ。

二、終止の形をとつてゐても、その文意が続く場合にはテンをうつ。

たゞし、他のテンとのつり合ひ上、この場合にマルをうつこともある。(例4)。

〔附記〕 この項のテンは、言はゞ、半終止 符ともいふべきものであるから、将来、特別の符号(例へば「 シロテン . のごときもの) が広く行はれるやうになることは望ましい。

三、テンは、第二の原則として、副詞的

語句の前後にうつ。その上で、口調の上から不必要のものを消すのである(例5における(,) のごときもの)。〔附記〕 この項の趣旨は、テンではさんだ語句を飛ばして読んでみても、一応、文脈が通るやうにうつのである。これがテンの打ち方における最も重要な、一ばん多く使はれる原則であつて、この原則の範囲内で、それぐの文に従ひ適当に調節するのである。

なほ、接続詞、感嘆詞、また、呼びかけや返事の「はい」「いゝえ」など、すべて副詞的語句の中に入る。

C - 本来必要のない空白(スペース) - について

句読点の代わりの空き(スペース)は、日本人学生には見られない現象で、原稿用紙に書かせ

た場合は留学生にも見られなくなるが、罫線上に書いた場合は、国籍問わず留学生には多々現れる。句点の代わりや単語と助詞の間などである。文型を確かめる意味もあるのだろうと推測できる。作文推敲上、文法や情報の確認に必要な空きであると想像できるため、自由にさせるのがいいと考えられるが、提出の際には秋を詰めるよう指導する必要がある。

これに対して、段落分けの一行空けは、日本人・留学生ともに現れる。前述したように、こちらはウェブの影響が多大と考えられる。加えて、段落の一字下げが消えた分、必要になったと考ええることもできる。

6 ま と め

本稿では、二年分の自己 PR コンテスト発表文を参照し、その記述に見られる問題点について分析した。

原因は様々なことが考えられるが、その原因を追究することが、今後の学習者へのフィードバックに役立つとは考えない。また、ネット社会の影響も予測されるが、今後ウェブでの情報は増えることはあっても減る見込みは皆無であろうことから、排除することは不可能である。一方、正しい表記が変化するとも考え難い。ゆえに、多様な表記の存在する中でも、正しい日本語表記の存在を、再確認し周知徹底することが重要と考える。

今後の日本語表現法授業の中で、実践と演習を繰り返すことが、この周知徹底に役立つに違いないことは明らかである。

参 考 文 献

大島 弥生、〈実践報告〉大学生の文章に見る問題点の分類と文章表現。能力育成の指標づくりの試み：ライティングのプロセス、における協働学習の活用へ向けて、京都大学高等教育研究（2010）、文化庁、新「ことば」シリーズ7 文章表現の工夫、（p 49-63）（1998）、国立国語研究所、新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か、（2004）

